

自：平成26年4月1日

至：平成27年3月31日

平成26年度事業報告書

社会福祉法人健善富会

明和輝保育園

《運営面》

0歳児のスタート数は、例年の通りの数となった。又今年度は退園・転園者が多く、子どもの出入りが多かった。毎月入所児童数の確認が来るため120%越え(108名)にならないようその都度人数の見通しを考えた計算に苦慮した。職員の方でもベテランの調理員や支援センター職員の退職があり、美光保育園からパートさんの異動で補充も出来た。明和輝保育園からも正職が1名美光保育園へ異動となった。

園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	9	15	16	17	17	17	90
現員4月	5	20	20	19	18	21	103
現員3月	11	19	20	18	18	21	107

《保育内容》

昨年度入職した職員も2年目を迎え、更に保育の充実が図れるよう0.1.2歳児は保育者の動きをビデオに撮り個々が自分の動きを観察チェック出来るようにした。幼児に於いてはベテラン職員が今年度で退職の為、引き継ぎを確り行ってもらふ事と、遊びの展開や環境認識についての意味を職員間で認識し合うよう促した。

《行事について》

秋まつり・・・今年度から姉妹園が各々の園で開催した。お神輿は明和輝保育園から真生保育園への渡御が行われた。各園開催になった事により、打合せもスムーズに出来たと感じた。販売の食品は、ポテトフライ・ポップコーン・冷凍パイ、在園児にはジュースを無料提供した。土曜保育は保護者に協力をお願いした。

ファミリースポーツデイ・・・

昨年からの変更を更に充実したものにするため、競技内容の検討を行い、簡単で分かり安い競技:オセロゲーム・どンドン投げようや、環境認識ゲーム:野菜のおなか当て、体育発表:毎身体操など内容は今までと少し違うものを取り入れた。

子ども劇場・・・つき組たいよう組ともクラスカラーを反映しての内容で行う事が出来た。

つき組=11匹(20匹)のねこ、たいよう組=かさじぞう、2クラスとも内容の充実したものに仕上がった。幕間にはわらべうたの発表を行った。

餅つき大会・・・

力士を招待しての開催が2年目となり、餅の販売とお相撲さんと遊ぶ時間との流れも忙しい中スムーズに行えたが、力士が1日で3園回る為滞在時間の厳守が必要。

《研修について》

わらべうたの講師が知念先生から高橋先生に代わり初めての研修となった。全クラスのわらべうた遊びを見て頂き、夜は3園合同の職員研修を行った。新人職員が多数の為、わらべうたを強化して行きたい。来年度からは、明和輝保育園と美光保育園へ各2回づつ来て頂く事になった。その他吉本和子先生の園内研修を6月・10月・2月に行った。来年度は積木の講師を依頼したいと考えている。

《その他》

年度末、民間保育園協議会主催での保育所利用満足度調査を行い、保護者からの評価を受けた。

総合評価点 4.46 (5点満点)

あきまつり



ゲーム「みずふうせん」



神輿渡御～真生保育園への道



販売コーナー

ファミリースポーツデー



親子体操



保護者レース「パンくい競争」



毎日体操

子ども劇場



年少劇「てぶくろ」



つき組劇「11 (20) びきのねこ」



たいよう組劇「かさじぞう」

餅つき大会



お相撲さんの餅つきと子ども達との遊び



メニューは きな粉・いそべ・けんちん